

＜平成26年度インド草の根・人間の安全保障無償資金協力実施案件＞

「タミル・ナド州マドurai県HIV感染者及びエイズ患者のためのホスピス兼訓練センター建設計画」

(供与金額：103,092米ドル)

平成29年12月12日、タミル・ナド州マドurai県において馬場誠治在チェンナイ日本国総領事、被供与団体「ラス基金」関係者、来賓、裨益者および地元住民等約100名が出席して、上記実施案件の完成式典が行われました。本件では、マドurai県および近隣地域のHIV感染者及びエイズ患者を対象とした包括的な支援の実施を目的に、末期エイズ患者のターミナルケア、HIV感染者及びエイズ患者の緩和ケア、家族への栄養指導を含む各種訓練の提供並びに地域住民を対象とした啓発活動を実施するため、ホスピス兼訓練センターの建設を実施しました。本件により、同地域のHIV感染者及びエイズ患者に対する包括的支援の向上および日印両国の友好関係が強化されることが期待されています。

「タミル・ナド州マドurai県HIV感染者及びエイズ患者のためのホスピス兼訓練センター建設計画」完成式



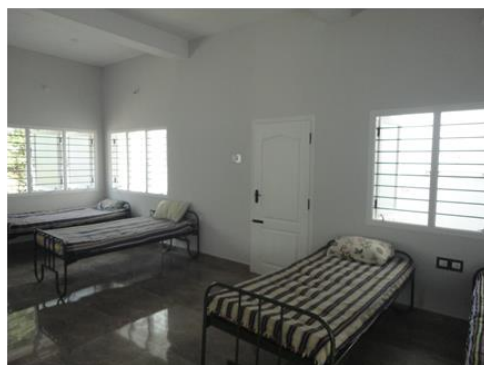
日本の支援を示すプレートの前にて馬場総領事および被供与団体関係者と



完成式には裨益者および地元住民等約100名が出席



完成したホスピス兼訓練センター



ホスピス兼訓練センターに設けられたエイズ患者のための病室